

「知の創造」を柔軟かつダイナミックに支援

京都大学学術研究展開センターの設置

研究力の向上を図るためには、グローバルな視点で学内外の研究動向を十分に把握したうえで研究者間の橋渡しを行い、研究活動を活性化できるURAが不可欠です。本学では、2022年度に組織改編により学術研究展開センターを設置し、高度な専門性を持つURA人材を育成する体制を整備するとともに、融合研究の推進と研究力強化、研究の国際化、産官学連携および大学経営戦略の企画・立案にかかる支援などを一層強化しています。



学内ファンド:いしずえ

科研費申請において残念ながら不採択だった研究者を対象に、不採択年度間の研究資金を支援する学内ファンドです。いしずえがセーフティネットとなって科研費の挑戦を後押ししたり、科研費が受給できなかった期間も切れ目なく研究を継続してもらうことを目指しています。さらに、学術研究展開センター（KURA）のプレアワード支援事業（科研費）とも連携することで、資金面だけでなく、研究内容にまで踏み込んだきめ細やかな支援を行っています。

いしずえは2013年に開設されて以来、研究フェーズや年齢層に応じた効果的なファンド構築を目指して、毎年改良を加えながら運営してきました。2022年度は（1）大型種目の獲得を目指す研究者を支援するBeyond、（2）種目のステップアップを目指す研究者を支援するStep-up、（3）斬新な発想に基づく新領域の創生に挑戦する課題を支援するPathfindingの3つのタイプを用意し、幅広い研究者のニーズに対応できるように改良しました。2023年度はこの枠組みを発展させ、継続予定です。

創造的な研究のさらなる発展を目指す研究者の科研費獲得を研究資金面から後押し

- 科研費申請において残念ながら不採択だった研究者に、次年度の科研費申請への再挑戦と、科研費採択後のスムーズな研究開始・研究加速をサポート
- プレアワード支援事業とも連携し、研究内容にまで踏み込んだきめ細やかな支援を実施

いしずえ支援実績（2018-2021年度）

2018年度 39件（翌年度科研費21件採択、翌々年度科研費5件採択）
 2019年度 41件（翌年度科研費21件採択、翌々年度科研費6件採択）
 2020年度 43件（翌年度科研費17件採択、翌々年度科研費13件採択）
 2021年度 40件（翌年度科研費16件採択、翌々年度科研費7件採択）
 2022年度 56件



学内ファンド:くすのき・125

京都大学創立125周年記念事業の一環として立ち上げた学内ファンドです。本学の基本理念に立ち返り、既存の価値観にとらわれない自由な発想で、次の125年に向けて調和した地球社会のビジョンを自ら描き、その実現に向けて挑戦している次世代研究者を、皆様からいただいた寄附金を用いて支援します。

1897年の創立後、大学を取り巻く環境や地球社会は大きく変化してきました。創立125周年を機に今一度歩むべき方向を見据え、学問の本質に迫る研究に取り組む次世代研究者を支援し、京都大学らしさあふれる自由で自律的な研究ができる環境を整えることで、より魅力ある地球社会の未来像を構築・発信していきます。※公募は2022年度をもって終了しています。

くすのき・125については、下記のウェブサイトでも紹介しています。

K.U.RESEARCHウェブサイト research.kyoto-u.ac.jp/kusunoki125/



学内ファンド:SPIRITS

京都大学の国際化、未踏領域への挑戦、イノベーションの創出を促進するチーム研究を支援する学内ファンドプログラムで、10年目となる2022年度で事業を終了。全期間で226件の研究プロジェクトを支援しました。2023年度からは、京都大学における学術研究の卓越性をより高め、多様性をより豊かにすることを目的に、スモールアイランド型研究の創出を支援する学内ファンドプログラムとしてSPIRIT2を提供しています。

SPIRITS 採択プロジェクトの成果は下記に掲載しています。

成果報告書

hdl.handle.net/2433/265289

K.U.RESEARCH ウェブサイト

research.kyoto-u.ac.jp/spirits/



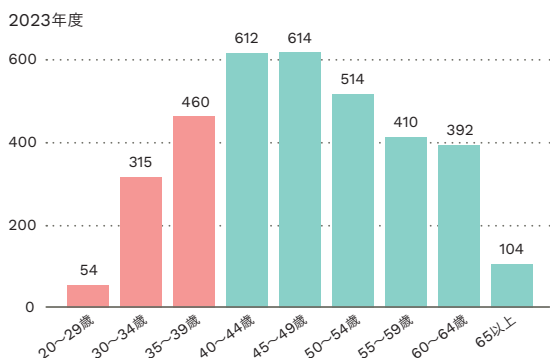
若手研究者の採用促進:白眉プロジェクト



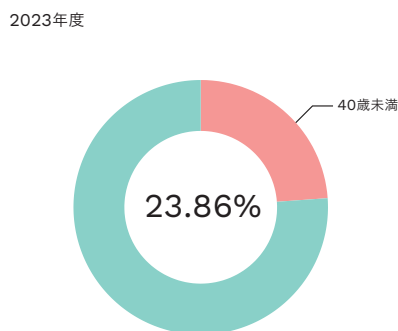
自由闊達で独創的かつ挑戦的な課題研究に取り組む若手研究者に、自由な研究環境を与えて支援する「白眉プロジェクト」は、創設以降、10余年にわたり京都大学独自の取組として実施しており、国内外から高い評価を受けています。

学術領域を問わず世界中から若手研究者を募り、これまでに採用された白眉研究者の総数は2023年4月現在で213名(文部科学省「卓越研究員事業」を活用した20名を含む)に上り、多種多様な分野の研究者がそれぞれの研究を恵まれた環境で実施し、将来を見据えた幅広い視点と好奇心に根ざした独自の研究を実施しています。

年代別定員内教員



40歳未満の定員内教員の割合



データ基準日:2023年5月1日 出典:DWH

※育児休業者、退職者を除く。 ※特定研究員、外国人教師及び招へい研究員並びにTA・RA・OA等学生の雇用者を除く。